

ちふれASエルフェン埼玉×SOMPOグループ 「防災ファミリーDAY ～さあ、防災のパスをつなごう！～」の開催について

損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長：石川 耕治、以下「損保ジャパン」）は、女子プロサッカーリーグに所属する「ちふれASエルフェン埼玉」とともに、地域の皆さまの防災意識向上を目的としたイベント「ちふれASエルフェン埼玉×SOMPOグループ 防災ファミリーDAY～さあ、防災のパスをつなごう！～」を、2026年5月10日に開催しましたことをお知らせします。

1. 背景・経緯

損保ジャパンは、「“安心・安全・健康”であふれる未来へ」を実現するため、あらゆるステークホルダーとの協働により、「損保ジャパンでよかった。SOMPOでよかった。」と言っていただけの会社を目指し、地域コミュニティの強化に取り組んでいます。

一方、ちふれASエルフェン埼玉は、埼玉県を拠点に活動する女子プロサッカーチームとして、スポーツを通じた地域貢献活動を積極的に推進しています。

このたび、両者の想いが合致し、サッカー観戦に訪れるファミリー層をはじめとする多くの皆さまに、楽しみながら防災について学んでいただく機会を提供するため、本イベントの開催に至りました。

2. イベントの概要

(1) 日時：2026年5月10日（日） 12時00分～13時30分

(2) 場所：熊谷スポーツ文化公園陸上競技場（住所：埼玉県熊谷市上川上300）

(3) 内容：

- ① 紙食器づくり：災害時に食器が割れたり、水道が止まって食器が洗えず使えなくなったりした際に、役立つ紙食器の作り方を新聞紙などを利用して折り紙感覚で楽しく学びました。
- ② 防災紙芝居「ちちんぷいぷい」：地震や津波の時にとるべき行動を、体を使って覚える紙芝居を上演しました。ご近所での助け合いの重要性を小さなお子さまにもわかりやすく伝える工夫が盛り込まれており、「共助」の意識を育みました。

3. 今後について

損保ジャパンは、今後もちふれASエルフェン埼玉とのパートナーシップを強化し、スポーツの力を活用した地域貢献活動を継続していきます。

【イベントの様子】



HIKESHI DNA 2030 Project

「HIKESHI DNA 2030 Project」は、当社の原点である“火消しの精神”を今に受け継ぎ、地域と連携して「災害に強く、だれもが安心して暮らせる地域社会の実現」を目指すプロジェクトです。

以上